平成 29 年度第 1 回富良野市公設地方卸売市場審議会議事録

日 時) 平成 29 年 11 月 21 日 (火) 午前 10 時 00 分～午前 10 時 45 分

場 所) 富良野市役所第三会議室

出席委員) 藤田均、中西章氏、高田英樹、大門敏雄、菊地邦之、藤林秀夫、座間悦子、
鈴木敏文、野原武

事 務 局) 後藤部長、本田市場長、澤田係長、福士

1. 開会

(本田市場長)

- ・ これより富良野市公設地方卸売市場審議会を開催する。
- ・ 本日は、審議委員 11 人中 9 人が出席をいただいている。富良野市公設地方卸売市場審議会規則第 5 条の規定に基づき、会議が成立していることを報告する。
- ・ 開会にあたり副市長より挨拶する。

(石井副市長)

- ・ 一昨年度末頃より市場(株)と民営目線で話し合ってきた。その結果今年 3 月に民営化の方向で進めていくことに決まった。
- ・ 直近では、12 月議会で市場条例の廃止等について提案する。
- ・ 市民の台所を担っていただく市場(株)に、今後も市民のために頑張ってもらいたい。
- ・ 本日は審議を慎重に且つ、十分な議論をしてほしい。

2. 会長挨拶

(藤田会長)

- ・ 来年の 3 月に向け、先週 17 日に市は買受人組合へ、民営化に向けての説明会を行っており、私も買受人として出席してきたが、いよいよ最終段階に入った。
- ・ 副市長からもあったが、本日は市民のみなさんに十分な意見を出していただきたい。

(本田市場長)

- ・ ここで副市長は公務のため退席する。
- ・ これ以降、会長が会議を進行する。

3. 議事

(藤田会長)

- ・ 次第の 3、議事について事務局より報告願う。

(澤田係長)

- ・ 昭和 49 年 4 月に市場を開設し、生鮮食料品の安定的な供給・確保に努めてきた。しかしこの間、市民の食生活やライフスタイルの変化から、生鮮食料品の消費減少、インターネット等流通経路の多様化により、市内の小規模専門小売店の減少、

さらに高齢化による廃業等によって、市場経由の流通が減少傾向にある。また、市場施設は昭和 40 年代に建設されたせり場等の建物・設備の老朽化が進んでおり、設備の故障が頻発し、生鮮食料品を保管するための冷却機能等の維持に支障をきたしている。今後、買受人や消費者からの鮮度や安全性など商品ニーズに応えるべく修繕・更新を図る必要があるが、市一般会計繰入金だけでは費用をまかなうことが困難である。一番古い建物で水産せり場が建設後 51 年、一番新規のものでも冷蔵庫施設等で 21 年が経過している。その他今後 10 年間で必要となる大規模修繕に係る経費は約 1 億 7100 万円である。

このような状況から、民間の持つ機動性や資金力の導入により、新たな販路開拓や設備更新による品質サービスの向上へつなげ、市場機能を低下させることなく生鮮食料品の適正な取り扱いを確保できるものと判断し、民営化への移行を決定した。

- ・ 市有財産について、まず平成 7 年度に市場施設整備事業により整備した施設について、処分制限残存期間中は市場(株)が目的外使用をしない等補助条件を承継することを条件に無償譲渡、土地については売却することで合意し、市議会の議決を得て処分する。
- ・ 民営化に向けた市場関係者との協議経過としては、昨年度 1・2 月に審議会を行い、3 月には市場(株)と協議を行い、民営化について合意した。さらに今年度 10 月には民営化後も買受人として継続の意向があるのか調査を行い、継続の意向がある方には、先週 17 日に買受人組合へ説明会を行ってきた。大きい変更点は開設者が市から市場に変わることであり、今後の取引業務も今までと同様に行っていくが、細かい規定については、市場(株)で決めていくということを伝えてきている。
- ・ 今後の市の役割については 3 点ある。
まず 1 つ目は、民営化後の立ち上がり支援である。市場(株)の経営が安定するまでの支援策として、土地・建物に係る固定資産税、都市計画税相当額について平成 31~33 年の 3 年間補助金を交付する。
2 つ目は、引き継ぐ資産についての適正な運用についてである。運営状況や資産管理について、市場(株)へ報告を求め、適正な運用が図られるよう努める。
3 つ目は、食の安全安心や地場産業育成の観点から地産地消の拠点となる卸売市場に対する地元産品の優先的取り扱いの要請を行い、また、一般市民・給食センター等への地産地消 PR など市場の利用促進を図る。
- ・ 市場(株)は、今後新開設者として卸売市場法等の関係法令や自らが定める業務規程を遵守するとともに、市場における売買取引のあり方などについて、買受人や利害関係者の意見を聴取するなど、これまで同様公正・公平な立場で効率的な市場管理運営をする。

(藤田会長)

- ・ 議事について、みなさんに協議いただきたい。

(大門委員)

- ・ 市と市場株はお互い納得したということではないか？

(中西委員)

- ・ 詳細な部分を除いて、民営化に関しては合意した。

(菊地委員)

- ・ 民営化後経営が安定するまで3年間土地・建物にかかる税について補助するということであったが、いくらぐらいになるのか？

(事務局)

- ・ 300～400万円程度となる見込み。

(高田委員)

- ・ 施設修繕は市場株で行っていくのか？

(事務局)

- ・ おっしゃるとおり。土地を売却することを条件に合意してきている。

(藤田会長)

- ・ その他意見いただいている委員からお願いします。

(鈴木委員)

- ・ 建物を無償譲渡することはいいと思う。ホテルも4年経過すればかかるのは土地代だけ。修繕代をもう少し考慮してもいいのではと思うが、市と市場株間で合意がとれているのでいいと思う。

(野原委員)

- ・ 異論なし。

(座間委員)

- ・ 今までどおりいい品物を市民へご提供いただければと思う。

(藤林委員)

- ・ 買受人組合として今後も継続していける体制がとれればと思う。

4. その他

(事務局)

- ・ 本来であれば審議委員のみなさまにおかれては、任期2年間であるが、民営化に伴い来年3月いっぱいまでとなっている。今後議会等で大きな変更点などでない限りは、おそらく今回が最後の審議会となる旨ご了承ください。

(菊地委員)

- ・ 議会で決まったものに関して、審議会等でお知らせはないのか？

(事務局)

- ・ 議会終了後、書面にて結果を通知する。

5. 閉会（午前10時45分終了）